

令和5年度
北海道高等学校PTA連合会「高校生と語るつどい」事業
実施報告書

令和5年11月27日

北海道高等学校PTA連合会 会長 様

北海道高等学校PTA連合会石狩支部
支部長 佐藤 正宗
(北海道札幌白陵高等学校)

本事業が、令和5年11月25日完了したので、次のとおり関係書類を添えて報告します。

記

1 事業実施概要

- (1) 期 日 令和5年11月25日(土曜日) 9時30分から
令和5年11月25日(土曜日) 12時15分まで
- (2) 会 場 北海道札幌白陵高等学校3階大講義室
- (3) 実施形態
・ ワールドカフェ方式
- (4) 参加者等
ア 参加学校 5校
(学校名：札幌丘珠高校、野幌高校、札幌厚別高校、札幌東豊高校、札幌白陵高校)
イ 参加者総数 28名

生徒数	引率数	保護者数	運営者数	その他	合計
13名	4名	6名	5名	名	28名

(5) 事業内容

- ア 事業の概要 生徒、保護者、教員が今日的課題を意見交換・討論することにより、日常では得難い異世代の協働関係を築き、それぞれの立場での社会環境の充実に還元する。
- イ 講師 NEONE(ネオン)代表 馬場 航平 氏
- ウ テーマ 「ウィズ・アフター コロナ時代を、自分たちが何をやりたいか？できるのか？」

2 事業実施による成果

コロナ禍という今までとは違う大きな変化を経て、今後どのように生きていくか、異世代間の意見交流を実現させた。

3 今後の課題等

生徒、保護者、教員何れの立場であっても課題である事象をテーマにすることは有意義である。今年度は11月25日の実施であったが、前日から当日朝にかけて大雪が降る荒天であった。また、インフルエンザが流行していた時期でもあった。開催時期については今一度考える必要性があるかも知れない。